

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	岩国市障害者サービスセンター		公表日	令和8年2月20日		
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		障害に合わせて、2部屋に分かれて活動している。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		職員の休暇などがあるが、基本以上の職員配置をしており、2つの部屋を職員が柔軟的に支援に関われるように移動したりすることができる。 パニック時などは複数の職員で対応している。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		課題、食事などエリアを分けて、分かりやすく表示したり、個々に対して動線や配置等の工夫をしている。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		外部の業者による事業所内の清掃が定期的に行われている。始業前に職員で部屋のマットや机、廊下の手すりの消毒を行っている。事業所内の支援室2部屋以外の部屋も使用することができる。可能な限り、整理整頓や安全に配慮して環境づくりを心がけている。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		カームダウンエリアを確保している。パーテーション等で区切るなどした個別の活動スペースを使用する場合は、スケジュールが重ならない、使用できる順番を写真等で表示するなど配慮している。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	○			
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		保護者向けアンケート等、保護者からの意見をいただき、職員間で共有し改善案を考えている。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		毎日始業前のミーティング、月1回の業務会議など随時ミーティング等に機会が設けられている。 意見交換があり勉強にもなり、他の人の意見も聞く機会になっている。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	○		施設利用者、実習生向けにアンケートを実施している。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		月1回の全体ミーティングの機会に内部研修を行い外部講師を招くこともあった。外部での講習（研修会）の案内や参加機会をつくっている。	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		5領域支援プログラムを公表し、家族へも配布している。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	○		アセスメントシートを活用している。 子どもに関わるスタッフから情報収集を行い、将来を見通した計画の立案に努めている。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		ミーティングの中で、計画について話し合う機会がある。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		計画内容が目に入りやすいように日々の行動記録表（カルテ）に載せている。アセスメントやモニタリングでの情報も共有され、具体的な支援活動のための話し合いがある。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		アセスメントシートを使用している。（年2回）	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○			

適切な支援の提供	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		ミーティングや記録などチームで話し合ったり、情報共有や共通理解にもとづいて立案している。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		クッキングや散歩などの活動や追加活動など取り入れている。子どもの意欲や達成度を考慮しながら、新しい課題を取り入れるようになっている。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	○		状況に合わせてシミュレーションなど行っている。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		振り返りを行い、改善点があればすぐに対応できるようにしている。次の日に前日の支援について話し合っている。日々ミーティングで前回の振り返りと本日の流れの打ち合わせが行われている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○			
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		日々の記録を振り返りや休んだ次の日の勤務日に確認することで統一した支援ができ、支援の検証にもつながっている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		年2回モニタリングを行い、計画に見直しを行っている。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか。	○		障害特性に応じた配慮をしながら、（絵カードや視覚的ツール等の活用）子どもたちの遊びや体験、自己選択の機会や地域交流の機会を活動に取り入れている。	
関係機関や保護者との連携	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定を育てるための支援を行っているか。	○		活動の選択など、視覚的に分かりやすくして選んでもらっている。スケジュールの中で個別に選択できる内容の課題が1件以上になるようになっている。	
	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○			
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		嘱託医→感染症対策委員会、予防接種、その他相談など 障害福祉、保育、教育等関係機関との連携→モニタリング共同開催、支援会議、学校訪問など	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○		学校お迎えの時間を活用し、先生や看護師と情報交換してその日の体調や状況を確認し、支援につなげている。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	○		保育園や児童発達支援事業所への訪問や見学の受け入れを行った。障害福祉サービス事業所へ移行時には学校の移行支援会議に参加したり、事業所への情報提供を行った。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	○			
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	○		児童発達支援センターや自立支援協議会が開催する研修に参加し、助言を受ける機会にもなっている。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	○		長期休暇に地域の子ども会を招いてイベントをしている。	
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	○		自立支援協議会開催の研修に参加したり、協議会メンバーである事業所内の相談員からの情報提供を受けたり情報交換している。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		連絡ノートやLINE、送迎時を利用して日々の連携を取るよう努めている。	
保護者への説明等	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		外部講師による研修を実施した。 家族向けの研修についてLINEでの発信を行った。	
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		契約書、重要事項説明書において事業内容や運営方針、利用者負担、相談窓口等、5領域活動プログラムなど説明を行っている。	契約時だけでなく、モニタリングの機会を利用して保護者に説明をする機会を定期的につくる。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		定期的にモニタリングが行われている。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	○			

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		相談があった場合には真摯に対応している。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	○		保護者交流会として保護者向け研修会と茶話会を開催した。	きょうだい同士の交流の機会がとれなかったため、長期休みのイベントに招待する機会をつくりたい。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○			個別に対応している。相談窓口などについて定期的に周知できるようにしたい。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		予約表に日々の様子や職員研修など写真を掲載しお知らせしている。 HP、LINEでの情報発信を行っている。	連絡帳やHP、LINEなどを通して写真等を活用しながら分かりやすく情報発信を継続していく。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		ロッカーに入れたり、特に外部来訪者の目に留まらないように掲示物など留意したりしている。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		視覚的ツールを活用している。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	○		3月クレープ、7月ソフトクリームのキッチンカーを呼んで地域の方にも来ていただく機会を持たせた。 10月ハロウィンに参加協力を依頼し、仮装して地域を回って楽しむことができた。	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		各マニュアルを事務所前カウンターに設置している。 感染症対策委員会 年4回 避難訓練 年2回 ヒヤリハット、事故防止のための研修 年1回 救急救命講習 年1回	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		火災、風水害等状況に応じて訓練を実施	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		お薬手帳をコピーさせてもらうなどして確認している。服薬の変更や発作などは随時報告していただき、モニタリング時にも確認している。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。		○	食物アレルギーの子の利用はない。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		令和6年度より安全計画を作成。安全点検や研修、訓練等を行っている。また従来からの業務マニュアルも整理し、年1回見直しを行っている。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○			計画を策定しているが、発信力が少なく、ご家族の認知度は高くなかった。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		ヒヤリハットの共有が適時行われているため、日常の小さなことも抵抗なく報告でき、即時対応される職場環境は安全管理にもよいと思う	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		研修を通じて自身の反省や知識の導入になっている。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	○		事前に職員で決定、ご家族に説明、同意を得て個別支援計画書に記載している。個別カルテに拘束時間を記入し、保護者には連絡帳や直接説明している。年1回サービス向上委員会にて、身体拘束等の報告を行い、3要件の確認を行っている。		